

令和7年度 第1回 日本診療放射線技師連盟理事会 議事録

日時：令和7年2月13日(木) 18:30~20:10

会場：Web 開催

参加者 理事長：木暮陽介

副理事長：江田哲男、角田喜彦、中上康次、丹羽政美

理事：上田克彦、江端清和、菊池克彦、小林聖子、渋谷敬一、園田優
杉澤路子、高橋俊行、谷本恵子、富田伸夫、中村勝、中村泰彦
西小野昭人、長谷川雅一、藤井雅代、山本英雄

監事：田中功、松原馨

陪席者：畦元将吾、各地域連盟支部長（小野木満照、小田真一郎、半部英敏、豊嶋英仁、
成田信浩、水口仁、柳澤直樹、松本好正）

司会進行：江田哲男

書記：谷本恵子

（敬称略）

業務報告・周知事項（報告期間：前回理事会～本日）

1. 活動報告 木暮理事長

2024年12月17日（火）第14回社会保障勉強会に出席

2024年12月19日（木）自民党参議院選挙公認面談に出席

2024年12月23日（月）第2回JFRT主催定例勉強会開催

2025年1月8日（水）第3回JFRT主催定例勉強会開催

2025年1月23日（木）第4回JFRT主催定例勉強会開催

2025年1月23日（木）ソーシャルケアサービス研究協議会賀詞交歓会に出席

2025年2月5日（水）第5回JFRT主催定例勉強会開催

2025年2月7日（金）畦元先生との懇談会

※（公社）東京都診療放射線技師会会誌に日本診療放射線技師連盟ニュース掲載依頼

2. 会計報告 木暮理事長

連盟会員数ならびに年会費納入状況について資料をもとに説明がなされた。

3. 連盟会員システム報告 角田副理事長

利用人数等について説明がなされた。

JCRTM2024（沖縄開催）で新規入会された会員がいるが、名前だけの登録となっており

詳細をまだ登録していないので、情報を送付していただくようお願いしたい。

寄付に関しては、会員システム内に「初期納入」という欄があり、ここを活用して寄付活動を行うことを考えている。

4. 活動報告 畦元先生

畦元先生から現状について報告があった。

5. 日本診療放射線技師会報告 上田理事

日本診療放射線技師会では現在、来年度の事業において各都道府県との連携を強化するというので、今期もその前哨戦として各都道府県診療放射線技師会の会員に対し医療政策の問題点についてご意見を伺う活動を始めている。

6. 政治活動と選挙運動について 木暮理事長

資料を提示し政治活動と選挙運動について説明がなされた。

7. その他 中上副理事長

JFRT 定例勉強会では、毎回同じ話を繰り返すのもどうかと思いながらも、初めて参加される方も多くいらっしゃるため、基本的な内容をお伝えしつつ、少しずつ話を変えながら進めている。最近では臨床検査技師の方々にもご参加いただいております、双方にとって有益となるような内容を心掛けています。何かご意見やご提案があれば、気軽にお知らせ願いたい。

審議事項

1. 日本診療放射線技師連盟入会（会費納入）促進について

今年度、会員数を 1000 名に増やしたいと考えている。

例えば、これまでも少し取り組んできたが、都道府県別の入会者数を「見える化」し、毎月の連盟ニュースとともに、支部長へ一斉に共有するというのはどうか。支部長の皆様の意見を伺いたい。効果が期待できるのか、また他に良い方法があれば意見をいただきたい。

-半部理事

支部長として口頭で確認すると「入会している」との返答があるが、実際には会費を払っていない人が多く存在している状況がある。そのため、未納者が分かるようなデータを提供してもらえると非常に助かる。

-江田副理事長

支部長の立場では、自分の支部の会員数が少ないことに対し、後ろめたさやネガティブな

発想を抱きがちだが、逆に「うちの地域にはこれだけ未入会者がいる」と明確にすることで、地域の会員増強に向けたアピールとして活用できるのではないかと考える。また、以前は会員だったが、会費を納入し忘れている人も多くいると想定される。今回、角田副理事長が構築したシステムは非常に簡易的であり、このシステムの広報を進めることも、会員増加につながる手段の一つとして有効ではないか。木暮理事長が提案した「見える化」によるグラフ表示については、大きな効果が期待できるのではないかと考える。

-木暮理事長

少し古いデータにはなるが、都道府県ごとの技師会加入技師の人数は把握している。そのため、全国 47 都道府県で合計 1000 人という目標を設定し、その比率に基づいて各都道府県の目標値を決める方法も考えられる。その上で、現在の連盟会員数と比較し、達成率を算出する形にするとどうか。達成率の見える化によって、都道府県ごとの状況がより明確になるが、一方でノルマのような印象を与えてしまう可能性もある。

この点について、半部先生の意見を伺いたい。達成率を示すことが負担にならないか、また他に良い方法があるかどうかについても意見をいただきたい。

-半部支部長

兵庫県はぜひお願いしたい。

-中上副理事長

達成率の見える化については、一部反感を買う可能性もあるが、そうも言ってもらえない状況だと考える。むしろ積極的にアピールしていくべきではないか。

-江田副理事長

会費納入の促進については、改めて皆様からの意見を募る。メールでも随時意見を受け付けたい。まずは会員数の視覚化ということで各都道府県の会員人数をについてグラフを表示する形で進めさせていただく。

→反対意見なし。審議事項 1 に関して承認された。

2. 定例勉強会の動画コンテンツ配信について 角田副理事長

今回の JFRT 定例勉強会の動画コンテンツ配信について、前回の理事会で「学会バンクでの配信が適しているのではないか」との意見があったため試みたが、セキュリティ面の課題等あり、配信がうまくいかなかった。木暮理事長のもとには編集済みの動画を届けているが、より多くの人に視聴してもらうためには、一般的に広く利用されている YouTube を活用するのが最適ではないかと考える。YouTube に詳しい方の協力を得て、動画をアップロードしたい。どなたか詳しい方がいれば、ご教示いただきたい。

-江田副理事長

角田副理事長からご提案があったため、後ほどでも構わないので、メールで情報を共有いただくと助かる。ご協力のほど、よろしくお願いしたい。また、ホームページの改善点を含め、「こういう機能を追加してほしい」といった要望があれば、ぜひ意見をいただき

たい。改めて提案がある場合は、メールでも構わないので、ご連絡をお願いします。

3. 次期参議院議員選挙について 木暮理事長

次期参議院選挙について説明がなされた。(1) 臨床検査技師連盟との連携方法、(2) 勉強会・研究会等で広報、(3) 当連盟から比例東京 13 支部への寄付、(4) 都道府県別の診療放射線放射線技師連盟と臨床検査技師連盟の支部長覧表作成について承認された。また、畦元先生の 5 分程度の動画を作成することとなった。

4. その他

-半部支部長からの質問。畦元先生から紹介のあった名刺は、支部長にもいただけるのかについて

-畦元参与

必要ならばすぐに送る。メール等で連絡いただきたい。

-上田理事

今回木暮理事長が説明した政治活動と選挙運動についての資料は配布を考えているか。

-木暮理事長

後日、連盟理事、監事、支部長に送付する。

-渋谷理事

推薦状について、各県議・市議への推薦状を提出するということがあったが、逆に畦元先生に対する推薦状を、各組織、大小を問わず様々な組織から回収することについてお聞きしたい。そうした推薦状があれば、各組織もそれをもとにメンバーへの啓発がしやすくなると思うが、いかがか。

-畦元参与

推薦状は数が多ければ多いほどよい。随時、推薦状が来たら党に報告する必要がある

理事会総括 丹羽副理事長

令和 7 年度第 1 回日本診療放射線技師連盟理事会総括を述べられた。

以上